

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 日本たばこ産業株式会社
 コード番号 2914 URL <http://www.jti.co.jp/>

上場取引所 東 大名 札 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コミュニケーション責任者 (氏名) 志水 雅一

TEL 03-3582-3111

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,719,819	—	110,447	—	72,551	—	16,910	—
20年3月期第1四半期	1,219,784	△5.4	93,337	△8.6	90,950	△12.1	63,099	△17.2

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	1,765.17		1,765.09	
20年3月期第1四半期	6,586.49		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
21年3月期第1四半期	4,571,831		1,700,582		35.6	169,740.85		
20年3月期	5,087,214		2,154,629		40.8	216,707.27		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,626,130百万円 20年3月期 2,076,072百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	2,200.00	—	2,600.00	4,800.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	2,600.00	—	2,600.00	5,200.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	6,610,000	3.1	311,000	△27.8	278,000	△23.3	148,000	△38.0	15,448.72	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注) 当社は、第2四半期連結累計期間の業績予想値を算出していないため、当該予想値につきましては記載を省略しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、6ページ「4. その他 (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、6ページ「4. その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 10,000,000株 20年3月期 10,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 419,920株 20年3月期 419,920株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 9,580,080株 20年3月期第1四半期 9,580,080株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、7ページ及び「2009年3月期第1四半期決算短信添付資料」の将来に関する記述等についてのご注意をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

① 全般的概況

当第1四半期(2008年4月1日～2008年6月30日)の業績

当第1四半期におけるわが国の経済は、原油及び原材料価格の高騰を受けた製品価格の上昇等により個人消費が伸び悩む中、企業収益も弱含みで推移するなど景気の減速がみられました。世界経済につきましては、サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱、原油及び原材料価格の高騰等により、米国経済の景気後退懸念が増し、欧州においても景気の回復基調が緩やかになる一方、アジアでは中国等で景気の拡大が続きました。

当社グループは、2006年5月に策定した中期経営計画「JT2008」のもと、2007年4月のGallaher及び2008年1月の加ト吉グループの買収により、事業基盤を拡大いたしました。それぞれの事業統合を迅速かつ着実に進め、将来の一層の成長につながるよう、諸施策の実施に取り組んでおります。

なお、海外たばこ事業に区分した連結子会社の第1四半期の決算日は3月31日であり、1月1日から3月31日までの業績を第1四半期の業績としております。したがって、2007年4月18日に買収を完了したGallaherの業績については、前第1四半期の業績に含まれておりません。

売上高

国内たばこ事業において、総需要の減少に伴う販売数量の減少等があったものの、海外たばこ事業におけるGallaher及び食品事業における加ト吉グループの連結等により、売上高は前年同期比5,000億円増収の1兆7,198億円(前年同期比41.0%増)となりました。

	2008年3月期 第1四半期 (億円)	2009年3月期 第1四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	12,197	17,198	5,000	41.0
国内たばこ事業	8,567	8,426	△141	△1.6
海外たばこ事業	2,725	7,433	4,708	172.8
医薬事業	112	161	49	43.7
食品事業	739	1,126	387	52.4
その他事業	53	50	△2	△5.5

※ 外部売上高で表示しております。

営業利益

会計基準の変更に伴う海外たばこ事業におけるのれんの償却開始、国内たばこ事業における販売促進費の増加等があるものの、Gallaherの連結寄与がこれらを上回り、営業利益は前年同期比171億円増益の1,104億円(前年同期比18.3%増)となりました。

	2008年3月期 第1四半期 (億円)	2009年3月期 第1四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	933	1,104	171	18.3
国内たばこ事業	624	558	△65	△10.6
海外たばこ事業	294	522	227	77.3
医薬事業	△29	21	51	—
食品事業	13	△27	△41	—
その他事業	31	25	△6	△21.2
消去又は全社	△1	4		

経常利益

連結子会社のユーロ建社債等の期末評価において為替差損が発生したこと及び Gallaher の連結に伴う支払利息の増加等から、経常利益は前年同期比 183 億円減益の 725 億円（前年同期比 20.2%減）となりました。

四半期純利益

廃止社宅等の取壊し撤去費用を含む関連損失の発生、固定資産売却益の減少及び成人識別自販機導入費用の増加等により、税金等調整前四半期純利益は前年同期比 504 億円減益の 491 億円（前年同期比 50.7%減）となりました。また、税金費用の算定の対象とならないのれん償却費用の影響等により、法人税等調整後の四半期純利益は、前年同期比 461 億円減益の 169 億円（前年同期比 73.2%減）となりました。

②事業別の概況**〔国内たばこ事業〕**

国内たばこ事業につきましては、当社グループの利益創出の中核として位置づけております。国内市場における総需要の減少、競合他社との競争激化により、事業環境は一層厳しさを増しております。当社といたしましては、トップライン成長に向けて、既存ブランドの必要な刷新・強化に加え、効果的な新製品の投入を行うとともに、生産性の向上につきましても、不断の取り組みを行っております。

当第1四半期においては、中核ブランドであるマイルドセブン・ファミリーを中心に既存ブランドの育成や新製品投入に注力し、ブランド価値の向上に努めました。昨年度から取り組んでいる「マイルドセブン」のキャンペーンを引き続き実施するとともに、2008年5月下旬に地域限定で新発売した「マイルドセブン・インパクト・ワン・100's・ボックス」の販売地域を順次拡大し、7月下旬には全国拡販する等、積極的な販売促進活動を行っております。

また、「キャビン・ローストブレンド・100's・ボックス」、D-spec 製品（当社独自の「たばこの先から立ち上るにおいを抑える」低臭気技術を活用した製品）「キャメル・ナッティ・ライト・ボックス」を2008年7月上旬から地域限定で新発売しております。なお、地域限定で発売していた「セブンスター・ライト・メンソール」を2008年8月上旬より全国拡販いたします。

当第1四半期における紙巻たばこの販売数量は、成人識別機能付たばこ自動販売機の導入に際し、コンビニエンスストア等に対する販売数量が増加したものの、総需要の減少により、前年同期に対し6億本減少し、420億本（注）（前年同期比1.5%減）となりました。また、積極的な販売促進活動の実施や新製品の投入等により、シェアは64.9%、千本当税抜売上高は4,056円となりました。

この結果、売上高は、販売数量の減少により、前年同期比141億円減収の8,426億円（前年同期比1.6%減）、営業利益は、販売促進費の増加等により、前年同期比65億円減益の558億円（前年同期比10.6%減）となりました。

（注）国内たばこ事業の販売数量には、当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第1四半期における販売数量10億本があります。

〔海外たばこ事業〕

海外たばこ事業につきましては、トップライン成長に努め、当社グループの利益成長の牽引役としての役割をさらに拡大させております。また、Gallaher との事業統合において、トップラインシナジーの追求に取り組むとともに、コストダウンシナジーの創出に向けた取り組みも着実に進めております。

また、ブランド・ポートフォリオの根幹を支える「ウィンストン」「キャメル」「マイルドセブン」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」の8ブランドをグローバル・フラッグシップ・ブランド（以下「GFB」）とし、これら GFB を中心に、トップライン成長の機会を積極的に追求しております。

当第1四半期における紙巻たばこの販売数量は、Gallaher を連結したことに加え、「ウィンストーン」がロシア、ウクライナ、フィリピン、スペイン、トルコ、イタリアで、「キャメル」がイタリア、スペイン、ロシアで大幅に伸張したこと、「マイルドセブン」が韓国、台湾、ロシアで順調に伸びていること等により、前年同期に対し 461 億本増加し、1,039 億本（前年同期比 79.9%増）となりました。なお、GFB の販売数量は、556 億本となりました。

この結果、売上高は、前年同期比 4,708 億円増収の 7,433 億円（前年同期比 172.8%増）、営業利益は、のれん償却費用の発生はあるものの、前年同期比 227 億円増益の 522 億円（前年同期比 77.3%増）となりました。

※ 当第1四半期の為替レートにつきましては 1 US ドル=105.25 円、前年同期の為替レートにつきましては 1 US ドル=119.45 円です。

〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、将来における柱事業を目指し、事業価値増大の早期実現に向け、臨床開発品の着実なステージアップと研究開発パイプラインの充実に努めるとともに、導出・導入機会の戦略的な探索にも引き続き取り組んでおります。

開発状況としましては、肥満症治療薬「JTT-553」、C型肝炎治療薬「JTK-652」の開発を中止し、自社開発品 9 品目が臨床試験の段階にあります。

子会社鳥居薬品(株)につきましては、外用副腎皮質ホルモン剤「アンテベート」、抗 HIV 薬「ツルバダ錠」及び尋常性乾癬治療剤「ドボネックス軟膏」等の売上高は伸張しましたが、肝臓疾患用剤・アレルギー用薬「強力ネオミノファーゲンシー」の販売を 2008 年 3 月末で終了したこと及び 2008 年 4 月より実施の薬価改定や後発医薬品の使用促進策の影響により蛋白分解酵素阻害剤「注射用フサン」の売上高が減少したことから減収となりました。

この結果、売上高は、鳥居薬品(株)における減収等があったものの、2004 年 10 月にロシュ社へ導出した脂質代謝異常治療薬「JTT-705」の開発の進展に伴うマイルストーン収入により、前年同期比 49 億円増収の 161 億円（前年同期比 43.7%増）となりました。また、営業利益についても、当社における研究開発費の増加や鳥居薬品(株)における減益等があったものの、マイルストーン収入により、21 億円（前年同期は 29 億円の営業損失）となりました。

〔食品事業〕

食品事業につきましては、当社グループの柱事業として、飲料事業、加工食品事業、調味料事業の 3 分野に注力しており、最高水準の安全管理体制の構築に向けた取り組みを進めるとともに、総合食品メーカーとしての基盤確立に努めております。

飲料事業におきましては、自動販売機オペレーターである子会社(株)ジャパンビバレッジを中心とした着実な拡大を図るとともに、基幹ブランドである「ルーツ」を中心に、差別化を徹底的に追求した新製品等を積極的に開発・投入いたしました。

加工食品事業におきましては、農薬混入事案の影響により冷凍食品の販売が低迷しました。当社グループとしましては、安全管理の徹底・改善をグループ一丸となって推し進めており、国内検査センターでの輸入冷凍食品の農薬検査の開始、外部専門家の当社顧問への招聘、原材料情報等の積極的な開示等、一層の食の安全性の確立に取り組み、お客様からの信頼を得ることができるよう努めております。

調味料事業におきましては、当社独自の技術を活用した高核酸酵母エキス等の天然調味料の開発・販路拡大に取り組むとともに、2008 年 4 月に子会社とした富士食品工業(株)との間での原料調達、製造、販売における経営資源の相互補完的な活用を通じて、更なる基盤強化に努めております。

この結果、売上高は、加工食品事業における農薬混入事案の影響に伴う売上の減少、飲料事業における天候影響及び競争激化に伴う売上の減少等があったものの、加ト吉グループの連結等により、前年同期比 387 億円増収の 1,126 億円（前年同期比 52.4%増）となりました。一方、利益面については、経費の増加、原材料価格の高騰及び加ト吉グループ連結に伴うのれん償却の影響等により、営業損失は 27 億円（前年同期は 13 億円の営業利益）となりました。

なお、加工食品事業及び調味料事業につきましては、2008年7月、子会社(株)加ト吉を中心とした事業推進体制への再編を実行いたしました。本再編において、品質管理、研究開発ならびに調達から販売までの各機能の集約・統合を進め、食品メーカーとしての更なる基盤確立に努めてまいります。

[その他事業]

その他事業につきましては、売上高は前年同期比2億円減収の50億円(前年同期比5.5%減)、営業利益は、前年同期比6億円減益の25億円(前年同期比21.2%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ12億円増加し、2,162億円となりました(前年同期末残高2,465億円)。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、318億円の支出(前年同期は115億円の収入)となりました。これは、たばこ事業による安定したキャッシュ・フローの創出があったものの、Gallaher分を含めた法人税や賞与の支払といった季節的要因及び海外市場におけるたばこ税の増税実施に対応した運転資本の一時的な増加等によるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

当第1四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、256億円の支出(前年同期は1兆7,071億円の支出)となりました。これは、主として(株)加ト吉の株式の追加取得及び富士食品工業(株)の株式取得による支出があったこと等によるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

当第1四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、1,024億円の収入(前年同期は7,273億円の収入)となりました。これは、配当金の支払があった一方、主として長期借入金及び短期借入金の純増による収入があったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、2008年5月1日発表の予想から変更はありません。

なお、当社は、第2四半期連結累計期間の業績予想値を算出していないため、当該予想値につきましては記載を省略しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当連結会計年度より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 2006年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、在外子会社で計上しているのれんの償却を実施したため、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ23,854百万円、期首剰余金は193,658百万円減少しており、また在外子会社における米国会計基準変更に伴う会計方針の変更による財務諸表の遡及修正額を当第1四半期の損益とする修正により、税金等調整前四半期純利益は、927百万円減少しております。

なお、事業の種類別セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

(追加情報)

・ 有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社は、2008年度の法人税法改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、当連結会計年度より有形固定資産の耐用年数を変更しており、主たる機械装置のたばこ製造設備は8年から10年に耐用年数を変更しております。

なお、この変更に伴う影響額は軽微です。

※ 上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2009年3月期 第1四半期決算短信添付資料」に記載しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2008年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2008年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	210,853	213,885
受取手形及び売掛金	327,141	325,075
有価証券	7,683	4,952
商品	42,893	36,539
製品	101,215	102,330
半製品	105,587	120,527
原材料	179,226	206,725
仕掛品	7,715	7,938
その他	308,917	221,223
貸倒引当金	△3,981	△4,504
流動資産合計	1,287,251	1,234,695
固定資産		
有形固定資産	727,554	763,332
無形固定資産		
のれん	1,668,251	2,106,887
商標権	532,918	613,496
その他	35,429	39,023
無形固定資産合計	2,236,599	2,759,407
投資その他の資産		
投資有価証券	134,322	132,173
その他	216,552	227,861
貸倒引当金	△30,319	△30,075
投資評価引当金	△130	△180
投資その他の資産合計	320,424	329,778
固定資産合計	3,284,579	3,852,518
資産合計	4,571,831	5,087,214
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	169,193	175,369
短期借入金	244,342	269,034
1年内償還予定の社債	219,961	73,054
1年内返済予定の長期借入金	9,973	6,668
未払たばこ税	254,289	200,875
未払たばこ特別税	10,841	10,898
未払地方たばこ税	88,972	88,839
未払法人税等	57,457	71,693
引当金	17,813	41,481
その他	324,410	346,480

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2008年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2008年3月31日)
流動負債合計	1,397,256	1,284,396
固定負債		
社債	467,655	643,631
長期借入金	435,591	396,907
退職給付引当金	280,243	283,387
その他の引当金	724	1,000
その他	289,778	323,261
固定負債合計	1,473,992	1,648,188
負債合計	2,871,248	2,932,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,400	736,400
利益剰余金	1,143,370	1,344,490
自己株式	△74,578	△74,578
株主資本合計	1,905,192	2,106,311
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,591	21,338
繰延ヘッジ損益	341	219
海外連結子会社の年金債務調整額	△9,201	△10,711
為替換算調整勘定	△294,792	△41,085
評価・換算差額等合計	△279,061	△30,238
新株予約権	247	185
少数株主持分	74,203	78,370
純資産合計	1,700,582	2,154,629
負債純資産合計	4,571,831	5,087,214

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年6月30日まで)
売上高	1,719,819
売上原価	1,394,538
売上総利益	325,280
販売費及び一般管理費	214,833
営業利益	110,447
営業外収益	
受取利息	2,008
受取配当金	1,386
その他	3,037
営業外収益合計	6,433
営業外費用	
支払利息	11,384
為替差損	29,771
たばこ災害援助金	39
その他	3,133
営業外費用合計	44,329
経常利益	72,551
特別利益	
固定資産売却益	678
取引契約終了一時金	600
その他	77
特別利益合計	1,355
特別損失	
固定資産売却損	121
固定資産除却損	4,998
減損損失	10,480
成人識別自販機導入費用	7,786
その他	1,353
特別損失合計	24,740
税金等調整前四半期純利益	49,166
法人税、住民税及び事業税	30,509
少数株主利益	1,745
四半期純利益	16,910

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第1四半期連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年6月30日まで)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	49,166
減価償却費	43,379
減損損失	10,480
固定資産除売却損益(△は益)	△214
のれん償却額	26,783
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,953
受取利息及び受取配当金	△3,395
支払利息	11,384
売上債権の増減額(△は増加)	△19,075
たな卸資産の増減額(△は増加)	△63,416
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,326
未払金の増減額(△は減少)	△28,774
未払たばこ税等の増減額(△は減少)	68,572
その他	△57,518
小計	37,997
利息及び配当金の受取額	3,086
利息の支払額	△10,774
法人税等の支払額	△62,117
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,808
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却及び償還による収入	1,794
有形固定資産の取得による支出	△17,889
有形固定資産の売却による収入	1,193
無形固定資産の取得による支出	△1,834
子会社株式の取得による支出	△7,644
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,061
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△14
その他	1,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,612
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	63,606
長期借入れによる収入	334,621
長期借入金の返済による支出	△270,625
配当金の支払額	△24,546
少数株主への配当金の支払額	△786
その他	166
財務活動によるキャッシュ・フロー	102,436
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43,742
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,273

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(2008年4月1日から
2008年6月30日まで)

現金及び現金同等物の期首残高	215,008
現金及び現金同等物の四半期末残高	216,281

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(2008年4月1日から2008年6月30日まで)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部売上高	842,661	743,349	16,137	112,654	5,016	1,719,819	—	1,719,819
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	12,507	8,269	—	41	3,383	24,202	(24,202)	—
計	855,168	751,619	16,137	112,695	8,399	1,744,021	(24,202)	1,719,819
営業利益又は営業損失 (△)	55,829	52,246	2,190	△2,752	2,501	110,015	431	110,447

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品(商品又は役務を含む)

(1) 国内たばこ…製造たばこ(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場におけるたばこ事業を含んでおります。)

(2) 海外たばこ…製造たばこ

(3) 医薬……………医薬品

(4) 食品……………清涼飲料水、加工食品

(5) その他……………不動産賃貸、リース、エンジニアリング他

3. 当第1四半期連結累計期間において、セグメント別の減価償却費、のれん償却額は以下のとおりです。

減価償却費(有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
当第1四半期 連結累計期間	19,474	18,604	877	1,941	2,654	43,553	(174)	43,379

のれん償却額

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	連結
当第1四半期 連結累計期間	272	23,854	—	2,657	—	26,783

4. 「国内たばこ」には当社の連結子会社であるTSネットワーク(株)を含んでおり、同社は当社たばこ製品の配送業務等のほか、外国たばこ製品(輸入たばこ製品)の卸売販売等の業務を行っております。なお、同社を通じて販売される輸入たばこ製品の売上高は300,068百万円であります。

5. 「海外たばこ」に区分した海外連結子会社の年度決算日は12月31日であり、2008年1月1日から2008年3月31日までを当第1四半期連結累計期間に計上しております。

6. 会計処理の方法の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「4. その他」(3)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 2006年5月17日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が、「海外たばこ」で23,854百万円減少しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (2008年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	1,219,784
II 売上原価	981,004
売上総利益	238,779
III 販売費及び一般管理費	145,441
営業利益	93,337
IV 営業外収益	6,699
受取利息	3,763
受取配当金	1,328
その他	1,608
V 営業外費用	9,086
支払利息	2,583
為替差損	3,187
共済年金給付費用	583
その他	2,733
経常利益	90,950
VI 特別利益	10,366
固定資産売却益	9,999
その他	367
VII 特別損失	1,661
固定資産売却損	528
固定資産除却損	694
成人識別自販機導入費用	292
その他	145
税金等調整前四半期純利益	99,656
法人税、住民税及び事業税	34,836
法人税等調整額	—
少数株主利益	1,720
四半期純利益	63,099

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (2008年3月期 第1四半期)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	99,656
減価償却費	32,874
減損損失	—
固定資産除売却損益	△8,983
のれん償却額	388
退職給付引当金の増減額 (減少: △)	△912
受取利息及び受取配当金	△5,091
支払利息	2,583
売上債権の増減額 (増加: △)	△17,077
たな卸資産の増減額 (増加: △)	12,931
仕入債務の増減額 (減少: △)	512
未払金の増減額 (減少: △)	△29,973
未払たばこ税等の増減額 (減少: △)	22,747
その他	△46,103
小計	63,550
利息及び配当金の受取額	5,147
利息の支払額	△2,902
法人税等の支払額	△54,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,566

	前年同四半期 (2008年3月期 第1四半期)
区分	金額 (百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△275
有価証券の売却及び償還による収入	3,696
有形固定資産の取得による支出	△25,441
有形固定資産の売却による収入	12,186
無形固定資産の取得による支出	△2,101
投資有価証券の取得による支出	△3,203
非連結子会社の株式取得及び増資引受による支出	△1,682,930
短期貸付金の純増減額 (増加: △)	△11,436
その他	2,337
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,707,167
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (減少: △)	583,135
長期借入れによる収入	165,799
配当金の支払額	△21,076
少数株主への配当金支払額	△322
その他	△187
財務活動によるキャッシュ・フロー	727,349

	前年同四半期 (2008年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	35,318
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△932,932
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,179,522
VII 現金及び現金同等物の期末残高	246,589

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同第1四半期連結累計期間(2007年4月1日から2007年6月30日まで)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部売上高	856,781	272,536	11,229	73,930	5,306	1,219,784	—	1,219,784
(2) セグメント間 内部売上高 又は振替高	12,412	7,295	—	35	6,407	26,149	(26,149)	—
計	869,193	279,831	11,229	73,965	11,713	1,245,933	(26,149)	1,219,784
営業利益又は 営業損失(△)	62,415	29,467	△2,921	1,398	3,173	93,533	(196)	93,337

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品(商品又は役務を含む)

(1) 国内たばこ…製造たばこ(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場におけるたばこ事業を含んでおります。)

(2) 海外たばこ…製造たばこ

(3) 医薬…医薬品

(4) 食品…清涼飲料水、加工食品

(5) その他…不動産賃貸、リース、エンジニアリング他

3. 営業費用に含まれているセグメント別の減価償却費、のれん償却額は以下のとおりです。

減価償却費(有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
前年同第1四半期 連結累計期間	19,944	8,444	767	999	2,948	33,104	(230)	32,874

のれん償却額

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計
前年同第1四半期連 結累計期間	272	—	—	116	—	388

4. 「国内たばこ」には当社の連結子会社であるTSネットワーク㈱を含んでおり、同社は当社たばこ製品の配送業務等のほか、外国たばこ製品なお、同社を通じて販売される輸入たばこ製品の売上高は以下のとおりです。

(単位:百万円)

前年同第1四半期連 結累計期間	303,785
--------------------	---------

5. 「海外たばこ」に区分した海外連結子会社の年度決算日は12月31日であり、2007年1月1日から2007年3月31日までを前年同第1四半期連結累計期間に計上しております。